

つ市議会だより

第 82 号

令和8年9月1日

令和8年第2回津市議会定例会……………	2
議決結果一覧表……………	14



「津城跡から伊勢湾へ広がる津の風景」

お城西公園上空から、藤堂高虎公ゆかりの津城跡を中心に、津の街並み、そして高速船が走る伊勢湾を望みます。

本年11月には、津市において高虎サミットが開催されます。



令和8年第2回津市議会定例会

令和8年第2回定例会が、6月8日から7月1日までの24日間、開催されました。



閉会日の様子

議案質疑 一般質問

今期定例会では6月15日から18日までの4日間にわたり質疑・質問を行いましたので、その主な内容をご紹介します。各議員の発言時間は、一人一律60分以内で、問答の項目は、質疑・質問の中から各議員が選んだものを掲載しています。

会派代表質問

- 3ページ……坂井田 茂（あおぞら）、吉川 一正（津市創成）
4ページ……小島 晴美（公明党議員団）、村主 英明（市政躍動）
5ページ……福田 慶一（津くらし政策の会）、佐藤 チコ（超党派議員連盟）
6ページ……田中 勝博（津みらい）

個人質問

- 6ページ……吉田 博康
8ページ……藤田 定彦、山路小百合
10ページ……長谷川 植、小林 貴虎
12ページ……松田 隼、柏木はるみ
7ページ……保田 勝平、堀口 順也
9ページ……青木 秀晃、石川 正浩
11ページ……八太 正年、瀧 裕司
13ページ……滝 勝弘

津みらい

伊藤 哲也 松田 隼
柏木はるみ 田中 勝博
佐藤 有毅 吉田 博康
◎岩脇 圭一

市政躍動

瀧 裕司 石川 正浩
奥野 栄作 ◎保田 勝平
石川 禎紀 村主 英明

津市創成

青木 秀晃 ◎吉川 一正
小林 貴虎 山路小百合
小野 欽市

公明党議員団

安積むつみ 小島 晴美
◎堀口 順也

あおぞら

◎藤田 定彦 中野 裕子
坂井田 茂

超党派議員連盟

八太 正年 ◎長谷川 植
佐藤 チコ

津くらし政策の会

◎福田 慶一 田矢 修介

無会派

滝 勝弘

◎会派代表者
令和8年第2回定例会時点

会派等の構成



問 中学校における拠点型部活動の 具体的内容とその長所・短所は

中学校における部活動は、学習意欲の向上や責任感・連帯感の養成など、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、各学校や地域の実態に応じ、持続可能な運営体制が整えられるものとするのが学習指導要領に示されている。

津市には、立地条件・規模が異なる20校の中学校等が存在するが、令和8年度から改革実行される「拠点型部活動」の具体的内容等を問う。

答 拠点型部活動は、やってみたい を実現し成長機会を確保する

拠点型部活動は、活動人数等に応じて定めたエリア内に拠点校を設け、学校の枠を超えて生徒が集まって活動する学校部活動で、令和8年夏から軟式野球やサッカーなど運動部9種目で実施する。

長所としては、一定の人数が確保され、実践的な練習や多様な仲間との活動ができること、これまで選択できなかった種目に参加できること、専門的な指導が受けられることなどが挙げられる。

短所としては、公共交通の利用や保護者による送迎など活動場所までの移動にかかる負担のほか、人間関係への不安や一貫した指導、活動状況の把握が難しくなることへの心配などを認識している。

その他の質疑・質問

- 通学路における無電柱化の推進に関して
- 津市役所本庁舎等の水害防止対策、エレベーター内防災用チェアの設置、エスカレーターの安全管理について
- 津城跡の環境整備（石垣上の樹木）に関して
- 中部国際空港への海上アクセス確保・充実のための津市新船舶建造に関して

など

エスカレーター事故と混雑を防ぐため、「足跡マーク」の表示設置の取り組みが望まれる



問 津市通学路交通安全プログラムの 運用について問う

津市は、通学路交通安全プログラムの運用において、危険箇所対策の新規要望を各单位PTAにつき年2カ所に制限している。国の「通学路における合同点検等実施要領」では、要望件数を制限していないが、国の方針との整合性は。

また、危険箇所を把握し、関係機関が連携して改善していくのがプログラムの趣旨であるが、要望がゴールになるなどの形骸化を防ぐ取り組みは。

答 通学路の危険箇所を把握し、合 同点検や対策を実施している

通学路の危険箇所対策について、各单位PTAからの新規要望は年2カ所としているが、交通事故や路面の状況が日々変化する中、新たな危険箇所がないかを丁寧に掘り起こすとともに、前年度の要望は継続要望として提出することができ、学校・警察・道路管理者・教育委員会等が連携して合同点検を実施し、対策内容の検討、実施、効果検証を継続的に行っていることから、国の方針との整合性は取れている。

校長会等においてプログラムの趣旨を改めて周知し、危険箇所をしっかりと把握するよう指示した上で、関係機関と連携して安全確保に努める。

その他の質疑・質問

- 運動施設の利用料金等について
- 統一的な算定基準・方針の策定と地域配慮は
- 救急車（高規格救急自動車）の更新について
- 更新基準超過車両の現状と複数台更新の考えは
- 水田活用の直接支払交付金の見直しについて
- 国の方針転換への市の認識と、農家を守る基本姿勢は

など

津市通学路交通安全プログラム





問

脳ドック助成制度の導入について問う

脳卒中や脳梗塞などの脳血管疾患は重い後遺症を残し、介護が必要となる要因の一つでもあることから、予防や早期発見が重要である。脳ドックの受診を希望しても費用負担が大きいとの声があり、三重県内では費用助成を実施している自治体もある。市民の健康を守り予防医療の選択肢を確保するため、津市においても他市の取り組み状況等を調査・研究し、同助成制度を導入できないか。

答

周辺市町の動向も踏まえながら今後研究を進めていく

脳ドックは、脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患の早期発見につながる検査として効果が期待できるものではあるが、高血圧や糖尿病などの生活習慣病が当疾患の大きな要因とされていることから、特定健康診査を通じた日頃の健康管理が重要と考えている。津市においても、国民健康保険に加入している40歳から74歳までの方を対象に、生活習慣病の早期発見、重症化予防などを目的として特定健康診査を実施している。国民健康保険の保健事業として脳ドックの受診費用への助成を行うことについては、周辺市町の動向も踏まえながら、今後研究を進めていく。

その他の質疑・質問

- 物価高騰対策・水道料金基本料金無料化
- プレコンセプションケアの推進について
 - 学校におけるライフプラン教育の現状について
 - 健康医療の視点に立った若い世代への啓発は
- 特定不妊治療費助成制度について
 - 相談体制について
 - 周知の充実について

▶
三重県立看護大学で毎月開催している、不妊等に悩む方の交流会（予約不要、参加費無料）



問

今こそ津市は津城跡（お城公園）の整備に正式に取り組むべき

NHKの大河ドラマ「豊臣兄弟！」の影響で注目される中、令和8年11月に津市で開催される高虎サミットを成功させ、津市の魅力を発信するため、残念な現状のお城公園に手を入れてきれいにするべきではないか。また、ふるさと納税や津城復元に向けた市民の取り組み等を踏まえ、今こそ津市は、専門家を入れた委員会を設置し、津城跡の整備に正式に取り組むべきではないか。

答

適切な維持管理を行い、史跡価値を高める整備を進めていく

お城公園の維持管理については、園内の広場や園路の除草、樹木剪定、高虎像の清掃などを実施しており、特に多くの方が来訪する津まつりや高虎サミットに合わせ、秋口にはこれらを集中して実施することで良好な景観の保全と創出に努めていく。津城跡の整備については、令和8年2月に三重県指定史跡津城跡（お城公園）整備活用（第1次）計画を策定し、津城跡の史跡としての価値を高めるための整備の一環として、令和8年度から令和10年度にかけて公園整備を行っていくこととした。また、史跡の本質的価値向上のために必要となる整備の在り方についても整理していく。

その他の質疑・質問

- 議案第74号 令和8年度津市一般会計補正予算（第2号）より
 - 地震被害想定調査事業
 - 津駅周辺整備事業
- ナフサ問題の影響とその対応策について
 - 市の公共事業や補助制度について
 - 市内事業者（地域経済）について

▶
津市のまちの象徴として、正式に津城復元に取り組みたい





問 合併20年、決算カードから津市財政の安全性と余力を問う

合併20年で、津市は将来負担比率を平成19年度の120%から令和6年度の21.4%へと圧縮し、財政の安全性を高めてきた。一方で、経常収支比率は97.7%と7.5ポイント悪化し、財政の硬直化が進んでおり、借金は半減しても市民が実感する財政余力に転化していない。改善要因の総括と、見えない負債である公共施設の更新需要の認識および対応方針を問う。

答 公共施設の適正化を図り、財政負担の軽減につなげていく

将来負担比率が大幅に改善したのは、合併直後の行財政改革への取り組みと、合併特例事業債という有利な財源を最大限に活用して自己負担割合を低く抑え、計画的な償還を実行してきた結果であると分析している。

平成29年に策定した津市公共施設等総合管理計画では、今後40年で必要となる公共施設の更新費用を年平均約163億円と試算しているが、令和2年度から令和6年度までの5年間の投資的経費は年平均約97億円で、約66億円が超過している。現状施設総量の維持は非常に困難であるため、公共施設の最適化を図り、財政負担の軽減につなげていく。

その他の質疑・質問

- 議案第74号 令和8年度津市一般会計補正予算
- 物価高騰対策について
- 学校の「当たり前」を問う教育改革について
- 教育長の教育ビジョンと「最上位目標」は
- 不登校について
- 教員の働き方改革と「やりがい」について
- 生徒指導について

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して発行した津市プレミアム付商品券



問 津市立三重短期大学の学科再編等の可能性について問う

津市立三重短期大学は、市民に高等教育の機会を提供するとともに、地域を支える人材を育成することを目的に設置されている。しかし、少子化に伴い、産業構造や働き方は大きく変化し、近年はAI技術の発展により、社会が求める人材も変化しつつある。同大学において、AI等の最先端技術に対応できる人材の育成を視野に入れた学科再編や教育内容を見直す考えは。

答 20年先の未来を視野に入れ、実務的な視点で検討を進めている

令和7年度に引き続き、津市立三重短期大学の機能・役割等に関する庁内調整会議を設置し、同大学が保有する人的・物的資源の活用をはじめ、地域課題の解決や地域貢献に資する方策や同大学の在り方などについて協議している。また、AI等の技術革新が進む社会が想定される中で、当該会議では、同大学の20年先の未来も視野に入れ、より実務的な視点で検討を進めている。今後も当該会議を中心に地元産業界等のニーズを把握し、人材育成や地元雇用などを通して、同大学が地域経済や市民生活により貢献できる高等教育機関となるよう検討を進めていく。

その他の質疑・質問

- 合併20年の総括と次の20年の自治体経営について
- 津市立小中学校と津市立三重短期大学における国旗掲揚と国歌斉唱の実施状況の違いについて
- 給食会計の公会計化による管理体制の変化や中学校給食費の無償化に向けた考え方、給食の質を維持するための津市の見解は など

津市立三重短期大学





問

津駅東口交通ターミナル、上部空間活用に向けた調査状況は

津駅東口の交通ターミナル整備として、国が進めるバスタプロジェクト調査のステージが、令和8年4月に新たな展開を迎えたと聞いている。

バスタプロジェクトは、大きな取り組みであり、大きな成果として評価できると考える。

これまで進められてきた国の調査が、このたび新たな調査段階を迎えたことに対する市長の見解と事業化に向けた今後の見通しについて質問する。

答

新たな調査段階に進み、国・県・市で連携して検討を進めていく

バスタプロジェクトは令和2年にスタートした国の事業で、令和3年4月に津駅周辺が調査箇所の一つに選定され、交通拠点の機能強化の必要性等の調査が進められてきたが、令和8年4月に調査段階が一段階ステップアップし、整備方針の検討へ進むこととなった。新たな調査段階に進むことができたのは、地元や市民の方からの津駅の形を変えることに対するご支援の声が大きかったことによるものと捉えて感謝している。今後の見通しについては、四日市バスタの竣工後に着手されるよう要望を重ねるとともに、しっかりと国の調査に協力し、国・県・市で連携して検討を進めていく。

その他の質疑・質問

- 津市コミュニティバス・スクールバス運行業務における安全確保と運転士さんの処遇について
- A R I S スクールコンタクト I N 南が丘小学校における宇宙飛行士との交信授業について
- 都市計画運用指針における土砂災害特別警戒区域の考え方、津市立地適正化計画における土砂災害特別警戒区域の取り扱いについて など

津駅東口交通ターミナルと一体となった官民連携による複合建築物のイメージ



問

行政の進化と業務革新に向けた取り組みについて問う

生成A I の活用については国も推進しており、生成A I の導入・活用に関する指針となる「行政の進化と革新のための生成A I の調達・利活用に係るガイドライン」が、令和7年5月にデジタル庁から発信されている。

そこで、津市における生成A I の活用状況と活用のルール、A I 統括責任者（C A I O）設置についての考えを問う。

答

会議録の作成等さまざまな業務に生成A I を活用している

津市では、会議録の作成、文章の要約、政策立案のアイデア出し、広報紙等に掲載するイラストの作成など、さまざまな業務に生成A I を活用しており、生成A I を安全に活用するため、順守しなければならない事項および利用上の注意事項を定めたガイドラインを整備し、職員に徹底している。

A I 統括責任者に関しては、「行政の進化と革新のための生成A I の調達・利活用に係るガイドライン」に示されているが、地方公共団体に設置を義務付けているものではなく、直ちに配置する予定はないが、今後、状況を見て判断していく。

その他の質疑・質問

- 議案第63号 津市運動施設の設置及び管理に関する条例の一部の改正について
- 議案第74号 令和8年度津市一般会計補正予算（第2号）
- 津城跡に関係した観光振興の取り組みと課題は
- 海上アクセス運航事業における新造船について
- 部活動の地域展開の取り組みについて

石垣が隠れるほど生い茂った草木、続100名城の名にふさわしい維持管理を！





問 中学校の部活動の地域展開は公教育の再生につながるのか

国のガイドラインにのっとり、津市においても令和8年8月から中学校の部活動の地域展開が実施される。これは、学校単独での部活動の維持や専門的な指導者の確保、教員の長時間労働といった課題を解消し、中学生の運動の機会を確保するため、また、公教育の再生を実現するために実施されるが、どのような計画で課題を解消し、その先にある公教育の再生を達成するのか。



答 公教育の再生等の観点を踏まえ部活動の地域展開を行っていく

文部科学省のガイドラインにおいて、令和8年度から令和13年度までに原則として全ての学校部活動について地域展開の実現を目指す方針が示され、津市は令和8年夏から令和11年夏までの3年間に拠点型部活動を実施する。拠点型部活動では、学校の枠を超えて生徒が集まることで活動人数を確保し、指導を希望する教職員等から専門性を生かした指導を受けることができるなど、活動内容の充実が期待される。部活動改革に当たっては、教員の多忙な勤務状況に鑑み、公教育の再生等の観点を踏まえ、学校教育の質の向上に資する学校における働き方改革の推進を図っていく。

その他の質疑・質問

- 美杉地域内林野火災の対応について
- 消防団活動について
- 操法大会・消防団員募集について
- こどもまんなか社会実現に向けた取り組みについて
- こどもの遊び場づくりについて
- 公共施設における授乳室の設置について など

三重県消防操法大会において津市消防団として初優勝した



問 すべての子どもが英語を話せる津市に

オンラインによるマンツーマン英会話レッスンとは、一人一台端末を活用し、海外在住の外国人講師とオンラインで結び、マンツーマンで英会話を行う授業であり、子どもたちの英語での発話量を大幅に増加でき、一人一人の英語力に合わせた学びの機会が提供できる。家庭の経済状況に関係なく子どもが英語力を身につけられるオンラインによるマンツーマン英会話レッスンの導入を。



答 AIの活用など新たな英会話学習の取り組みも研究していく

オンラインでの英会話については、令和5年度から小学校・義務教育学校の3～6年生の児童を対象に、ALTと児童宅をオンラインで結び、英語でやり取りを行う「津市イングリッシュ・ルーム・オンライン」の実施や、中学校等では会話や発表を評価する「パフォーマンステスト」などにおいて、ALTと生徒が直接英語で対話する取り組みを行っている。また、休み時間や放課後など授業外において、ALTと児童生徒が会話する機会を設けている。マンツーマンで学習する機会は非常に重要であり、AIを活用したタブレット端末での学習など新たな取り組みも研究していく。

その他の質疑・質問

- 過去に津市内で発生した火災について
- 空き地の枯れ草等の火災予防対策は
- 相川上流排水区における浸水対策は
- 波瀬川第一排水区ほかにおける浸水対策は
- 過去に市内で発表されたクマアラートについて
- 放任果樹の伐採等の対策は
- 健康経営優良法人の認定を

森林等に立ち入る際は、鈴、笛、ラジオなど音のするものを携帯し、単独行動は避けましょう





問

津市重度障害者等日常生活用具給付事業の給付種目追加を問う

津市重度障害者等日常生活用具給付事業は、多くの市民に利用されているものの、令和7年第1回定例会において取り上げた『介護用抱っこひも』のように、給付種目の追加等を望む声があるのも事実である。

令和8年4月1日に当事業の給付種目が追加等されたが、その内容および周知方法は。

答

津市公式ウェブサイトなどで周知に努めている

障がい者ならびに障がい児およびその保護者の日常生活上の便宜を図るための日常生活用具については、津市重度障害者等日常生活用具給付事業実施要綱において給付種目を規定している。

当該要綱を改正し令和8年4月1日から、「移動・移乗支援用具」の性能において、「移乗動作の補助、段差解消等の用具にあつては、屋外で使用するものを含む」という規定を付け加え、『介護用抱っこひも』を給付対象に含めたほか、人工呼吸器用自家発電機または外部バッテリーを追加した。

これらの内容は、公式ウェブサイトおよび「障がい福祉のてびき」に記載し、周知に努めている。

その他の質疑・質問

- 災害協定について
 - 団体・事業者との災害協定の現状は
 - 福祉車両等を保有する団体・事業者と協定を結んでは
- 市役所の窓口受付時間の短縮について
- 第49回三重県消防職員意見発表会について

災害時の移動支援が確保できる福祉車両



問

大河ドラマ「豊臣兄弟！」を契機とした歴史資源の魅力発信を

大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放映は、藤堂高虎公や津城をはじめとする津市の歴史資源の魅力为全国へ発信する絶好の機会である。この好機を逃さず、また一過性のものに終わらせることなく、観光誘客や地域活性化につなげていくため、市内だけでなく首都圏、関西圏、中京圏などの人口集積地に向けた積極的な情報発信が必要と考えるが、津市の観光プロモーションの取り組みは。

答

全国のさまざまな場所で情報発信に取り組んでいる

津市内では、アスト津1階の「城下町テラスアスト津陣屋」において、津センターパレスの「城下町テラス津まん中歴史資料館」や藤堂高虎公、津城の紹介を行っている。

また、津市外での観光プロモーションとして、三重テラスの「つデイ」、パシフィコ横浜の「お城E X P O」、イオンモール京都桂川の「三重県フェア」のほか、名古屋市の大河ドラマ館や高虎公ゆかりの地の名張市、大和郡山市などでも津市観光協会がキャンペーンを展開している。

今後も関係機関と調整しながら津市のPRや観光誘客を図っていく。

その他の質疑・質問

- 議案第74号 運動部活動地域展開等推進事業
- 太陽光発電施設の適正な設置および維持管理ならびに条例制定について
- 津市立三重短期大学の地域との連携について
- 避難行動要支援者名簿制度について
- 若年層や中高生の思いがけない妊娠に対する支援について

津城復元に思いを込めて市民が制作、寄付した藤堂高虎公の等身大パネル





問 第一東山踏切の拡幅と県道白山小津線につながる道路の整備を

踏切事故はヒヤリハットも含め、全国的に解決すべき課題であるが、ＪＲ名松線の第一東山踏切は幅員が４メートル未満であるため、緊急自動車が通行するのに十分な幅員となるよう拡幅するとともに、一志地域の東山地区は交通アクセスが限られ、災害発生時に孤立地区となる懸念もあるため、既設道路を県道白山小津線までつなげるなど、道路計画に同地区の課題を反映されたい。

答 既存の道路を丁寧に維持管理し、地域の安全確保に努める

第一東山踏切の幅員は約２．８メートル、一般的な救急車や中型消防車の車幅は約２．５メートルで、それらの車両や災害対応車両が通行することは可能であると認識しており、市が主体となって直ちに拡幅を行う段階には至っていないと考えているが、同地区が災害時に孤立しないよう既存の道路の維持管理を丁寧に行い、安全の確保に努める。

また、第一東山踏切から南進して集落を抜け、県道白山小津線、いわゆるグリーンロードへとつながる避難道路を整備するという、将来的な地域の在り方を見据えた提言については、貴重な意見として受け止める。

その他の質疑・質問

- 災害時における信号機の停電に対する市の取り組みについて
- 災害対応用ＬＰガス非常用発電機の導入状況について
- 一志町波瀬地区および美杉地域における携帯電話の不感地域解消に係る取り組みについて など

ＪＲ名松線の第一東山踏切



問 ＪＲ一身田駅の地域拠点化について問う

ＪＲ一身田駅は、専修寺および寺内町を核とした歴史観光地区の「観光拠点」、にぎわい交流の新たな「地域拠点」、文化資産としての「歴史文化拠点」として十分なポテンシャルを持っている。地域の玄関口として、また地域住民や観光客が集う拠点として、津市の観光・文化・交通部局が連携し、ＪＲ東海と折衝しながら同駅舎の整備と活用を進めるべきではないか。

答 津市および地域の意向を関係機関に伝えていく

ＪＲ一身田駅舎は、建築後１００年を超える趣のある建築物であり、周辺は三重県内で唯一の国宝建造物である御影堂・如来堂がある高田本山専修寺や、環濠・寺院建築・町屋などが残る一身田寺内町の町並みなどを有し、津市景観計画の重点地区に指定されていることから、同駅舎および周辺一帯が、文化的観点からも観光誘客につながるものと考えている。同駅舎の活用については、地域住民からも意見が寄せられていることから、一身田寺内町観光振興懇話会などで地域の意見を聞き取った上で、ＪＲ東海をはじめとする関係機関に対し、津市および地域の意向を伝えていく。

その他の質疑・質問

- 津市農業経営基盤強化資金等利子補給金交付要綱について
- 津市と上富良野町の友好都市提携に係る一身田小学校と同町の小学校との姉妹校提携の可能性について
- 津市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について

ＪＲ一身田駅は築１０３年の津市最古の駅舎であり、観光・文化的価値が高い地域の拠点である





問

河芸町島崎町線でにぎわいを創出！「海業」の推進を問う

河芸町島崎町線の整備を契機に、地域のにぎわいを生む「海業」の導入を提案する。現在、国は規制緩和などで全国の地域おこしを後押ししており、海業を推進することで、白塚漁港に海産物を生かした魅力的な拠点づくりが可能である。

そもそも海業とはどのような制度か、その趣旨や概要、津市における今後の展望を問う。

答

漁港の可能性を最大限に生かし、地域の活性化につなげる

海業とは、地域のにぎわいや所得と雇用の創出を目的に、海や漁村の地域資源を最大限活用し、漁港での水産物の販売、飲食、漁業体験などを推進するもので、令和5年の法改正により、地域のにぎわい創出の拠点として漁港の位置付けが強化され、民間活力を導入する基盤が整えられた。

津市内では、白塚漁業協同組合が海業推進に向けた計画策定のために協議会を立ち上げると聞いていることから、白塚漁港の施設管理者である三重県と連携し、地域資源の活用と創出に向けた取り組みを支援していく。また、関係部局が一体となり、地域全体の活性化につなげていく。

その他の質疑・質問

- 災害時受援体制の実効性について
 - 円滑な受援を実現する体制
 - 想定外を見込んだ訓練実施
- 子ども・子育て支援金と子育て支援策の在り方
 - 事業内容と市民負担
- 身寄りのない独り暮らし高齢者について
 - 死亡時の火葬対応の現状

海業を生かした展望台防災タワーのイメージ図



問

不登校児童対策に医師ほか外部専門家の協力をもっと仰ぐべき

児童生徒の不登校の要因は多種多様であり、その対応も教育のみならず医療や福祉の支援が必要なケースが増えている。特に早期における質の高さが求められる中、医師などの専門家に初動から知見を伺う機会を今以上に広げるべきだと考える。また、国が求めているアウトリーチの拡充においても、担任やS S Wだけでなく専門家の方々にもお手伝いいただける間口を広げるべきではないか。

答

ケース会議において必要に応じて外部機関に協力を仰いでいる

津市教育委員会では、学校を月に5日以上欠席した不登校傾向と思われる児童生徒を把握し、三重大学・津市子ども教育センターにおいて、定期的にS C（スクールカウンセラー）やS S W（スクールソーシャルワーカー）を交えた検証を行っている。また、緊急性の高い事案については、学校単位でケース会議を立ち上げ、必要に応じて市の福祉部局や児童相談所、医療機関、民生委員等の関係機関を交えた会議を行っており、関係機関との連携に当たってはS S Wがエリアを分担して学校と外部機関をつなぐ役割を担っている。

その他の質疑・質問

- 心の健康観察の全校、全学年を対象とした定期的な実施について
- 津市の不登校支援ガイドラインの活用と刷新について
- 不登校を糸口にした課題解決のための多部局連携と人員拡充について

タブレット端末を使った心の健康観察（イメージ）



**問** 栗真町屋町等における浸水の解消について問う

令和6年の台風第10号で浸水被害が発生した栗真町屋町等における浸水解消のための今後の取り組みは。

答 町屋ポンプ場の旧館を活用することで浸水の軽減を図った

栗真町屋排水区では、平成30年度に策定した津市雨水総合管理計画に基づき、令和6年度までに町屋第1雨水幹線および第2雨水幹線の整備ならびに町屋ポンプ場のポンプの新設・増設を実施したが、令和6年の台風第10号では、下水道の計画降雨量を超える降雨により浸水被害が発生した。

その後、同ポンプ場の旧館には少し余裕があることが判明したため、令和7年度に雨水幹線と旧館をつなぐバイパス管を整備し、新館と旧館を連携させることで浸水の軽減を図った。また、面整備が不十分な部分が残っていることから、令和8年度は現地測量等を実施する。

その他の質疑・質問

- ズリの管理および処分は適正か
- 火災による民家破損の津市の100%補償はどこまで補償されたか
- 平成29年度時点における市営浄化槽の設置は合法か
- 都市計画道路の整備について

右：町屋ポンプ場（新館）
左：町屋ポンプ場（旧館）

**問** 津偕楽公園のS Lリニューアルについて詳細を問う

令和8年度から三カ年で津偕楽公園のD51形499号機のリニューアルが進められることになった。設置から五十数年間屋根なしで展示し、D51の中でも独特な形状を有する車体の劣化が進んでいることには、市民のみならず鉄道ファンも心を痛めてきた。今回の整備で屋根が付くとのことだが、なぜ今になって整備することになったのか、また三カ年の作業予定の詳細、整備後の活用計画は。

答 S Lを目当てに訪れたくなる環境を創出していく

令和元年度以降、津市で維持管理を検討する中、令和6年度に創設された国の第2世代交付金を活用し、歴史的価値を有する津偕楽公園を魅力ある憩いの空間とする一環として、屋根の設置を含めた抜本的なリニューアルを行う決断をした。令和8年度は車両を風雨から守るための屋根施設の実施設計、令和9年度は屋根施設の新設工事や新たな体験の目玉となる汽笛の仕様の決定、令和10年度はD51の塗装工事や汽笛の設置工事を実施し、往年の迫力ある雄姿を目と耳で体験できるようにすることにより、これまで以上にD51を目当てに訪れたくなるような環境を創出していきたい。

その他の質疑・質問

- 議案第64号および65号 工事請負契約について
- 文化ホールの舞台照明設備および舞台音響設備改修工事による更新後の機器の操作性について
- 津駅東西連絡歩道橋の再開の可能性について
- 見当山を再び活用する可能性はないのか
- 「津市の誇れるもの」のPR手法について、わがまちを自慢する市民が増えるような取り組みは

現役時代のD51形499号機（昭和48年、阿漕駅、瀧裕司撮影）





問 自治会要望について問う

自治会は、地域課題や住民要望を取りまとめる重要な役割を担っている。一方で、自治会未加入者の増加などにより、要望の取りまとめが難しくなった地域における住民の声を市がどのように把握するかも課題である。そこで、自治会要望の件数と対応、自治会未加入者等の声の把握、案件の進捗管理および市だけでは対応できない要望に係る関係機関との連携について問う。

答 1週間1カ月ルールに基づき、速やかな対応に努めている

令和7年度の自治会要望は1,070件あり、受付後1週間以内の内容確認、1カ月以内の回答をルールとして対応している。自治会未加入者等からは個人の要望として窓口やHPなどで受け付け、自治会要望と同様の対応をしている。なお、各部局において市民の意見・要望等管理システムに要望の受付日や申出者、対応状況などを入力し、全庁で一元的にデータ管理することで、各部局が進捗を管理するとともに、市民部が1カ月単位で整理し、未完了の場合は適時、所管部局に通知している。

また、市だけでは実現できない要望は、各部局で必要な関係機関と連携し、対応している。

その他の質疑・質問

- 保育料多子軽減制度について
 - 現状の取り扱いについて
 - 年齢要件の見直しによる影響について
 - 見直しに対する津市の考えについて
- 選挙事務の効率化等のサービス向上について
 - デジタル地図の活用について

子どもは「宝」である



問 津市の経済分野でのジェンダーギャップの解消について問う

「地域からジェンダー平等研究会」が令和7年度の都道府県版ジェンダー・ギャップ（男女格差）指数を発表し、三重県の経済分野の指数は全都道府県で47番目、最下位であった。三重県は「三重県ジェンダーギャップ解消基本戦略」を発表したが、津市の現状と格差を解消するための施策、これまでの取り組みの成果と課題について問う。

答 ジェンダーギャップの解消に、より効果的な取り組みを進める

経済分野でのジェンダーギャップ解消に向け、津市では、男女共同参画フォーラムや情報紙の発行による市民への啓発のほか、市内事業所を訪問し、意識変革やワーク・ライフ・バランス促進のメリットを伝えている。育児などによる休業後も働ける環境づくりや、より広範囲の職務への女性の配置などの変化が感じられる一方、理解や取り組みが浸透していない部分もある。今後、国や県の産業別データを活用し、事業所の規模、業種などによって啓発手法を変えることを検討するとともに、令和8年度実施予定の市民意識調査や事業所調査を踏まえ、より効果的な取り組みを進める。

その他の質疑・質問

- がん治療を受けている方のウィッグや乳房補正具などの購入費用の助成について
 - アピアランスケアの考え方と取り組みは
 - AYA世代（15～39歳）に必要な支援は
 - 高額療養費制度の改正のポイントと実施時期は
 - 津市教育委員会が策定している「がん教育推進事業実施要領」の目的と内容は

津市は平成19年に「男女共同参画都市」を宣言しました





問 ウォーターＰＰＰには、水の公共責任の観点から問題がある

ウォーターＰＰＰ（上下水道管理・更新一体マネジメント方式）の検討をするとしているが、導入に対するデメリットや懸念事項はないのか。

また、「ウォーターＰＰＰを導入しなければ下水道管渠改築への国費支援を打ち切る」と国が言っている。下水道事業に多額の費用がかかるのは当然なのに、問題があるものを実質強制するのは、地方自治体の自治権の侵害ではないか。

答 国の財政支援が受けられるよう動向を注視していく

現在、津市上下水道管理・更新一体マネジメント方式検討支援業務委託を実施中であり、ウォーターＰＰＰ導入のデメリットや課題についてはこれから検討していくことになるが、仮に問題があるとすれば問題がないような要求水準書を作成することで解決していく。現在、国費の支援に関してはウォーターＰＰＰ導入の要件化が示されているが、下水道管の更新には莫大な費用がかかることから、国の動向を注視し、仮に津市がウォーターＰＰＰに進めなかったとしても国の財政支援が受けられるよう、様々な機会を捉えて要件化の改善を国に求めている。

その他の質疑・質問

- 内水ハザードマップが地域に配布されたが、そこで示されるグレーや白の色付けの意味は
- 河芸地域の建設発生土処分事業の委託の状況は
- 猛暑から市民の命を守るために、全ての生活保護世帯へのエアコン設置補助を
- 学校体育館へのエアコン設置における中東・イラン情勢による部材調達などへの影響は など

内水ハザードマップで白い場所でも、0.1メートル未満の浸水の可能性があることになる



みてみよう 聴いてみよう



本会議や委員会は傍聴することができます。本会議の傍聴を希望される方は傍聴受付で、また、委員会の傍聴を希望される方は議会事務局窓口で、住所、氏名をご記入の上、傍聴席へ入場していただきます。

- 開会時刻は、午前10時の予定です。
- 本会議は議場、委員会は委員会室で行う予定です。（いずれも市本庁舎議会棟3階）
- 傍聴席の定員は、議場56人、委員会室5人で、先着順に受け付けています。
- 議場傍聴席には車いす用リフトがあり、車いすのまま傍聴することができます。
- 本会議では聴覚障がいまたは音声・言語機能障がいの身体障害者手帳を所持されている方の希望に応じて、手話通訳や要約筆記を行っています。希望される日の7日前までに議会事務局へ申請してください。詳しくは、津市議会ホームページをご覧ください。Eメール（229-3222@city.tsu.lg.jp）またはファクス（229-3337）などで事務局へお問い合わせください。
- 議場では、補聴用受信機を貸し出していますので、必要な方は、傍聴受付にてお申し出ください。



補聴用受信機



車いす用リフト



要約筆記の様子

議決結果一覧表

今期定例会では、承認3件、報告17件、条例の一部改正9件・廃止1件、令和8年度補正予算3件、請願1件、意見書1件、その他10件の45議案が審議されました。

その結果、報告17件を除く28件のうち、27件は承認・可決され、請願1件は不採択とされました。

可決された議案

【全会一致（出席全議員が賛成）で承認・可決された議案】

議案番号	議 案 名
	概 要
承認第3号	専決処分の承認について 津市市税条例等の一部の改正について 軽自動車税の環境性能割の廃止など、地方税法が改正されたことなどに伴う所要の改正
承認第4号	専決処分の承認について 令和8年度津市一般会計補正予算（第1号） 国民健康保険事業の増による 283万7,000円 の増額補正
承認第5号	専決処分の承認について 令和8年度津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） 直営診療施設勘定繰出金の増による 283万7,000円 の増額補正（事業勘定）、繰上充用金の増による 283万7,000円 の増額補正（直営診療施設勘定）
議案第54号	津市監査委員条例及び津市職員等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部の改正について 地方自治法等の改正に伴う引用条文の整理
議案第55号	津市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部の改正について 国家公務員等における宿泊費基準額が見直されたことに伴う津市議会の議員、市長および副市長、職員等の1夜当たりの宿泊費に係る規定の改正
議案第56号	津市市税条例の一部の改正について 地方税法が改正され、家屋および償却資産に係る固定資産税の免税点が引き上げられたことなどに伴う所要の改正
議案第57号	津市大型共同作業場の設置及び管理に関する条例の廃止について 津市大型共同作業場について、長期にわたり作業場として使用していないことから、当該作業場を廃止するため条例を廃止
議案第58号	津市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例等の一部の改正について 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める厚生労働省令が改正され、小規模保育事業所A型等に勤務する特定理学療法士等を、1人に限り保育士とみなすことができるとされたことなどに伴う所要の改正
議案第59号	津市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例及び津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部の改正について 児童福祉法の改正により保育を必要とする満3歳以上の児童に保育を行う満3歳以上限定小規模保育事業が創設され、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める厚生労働省令等が改正されたことに伴う所要の改正
議案第60号	津市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例及び津市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部の改正について 学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律が施行されることに伴い、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める厚生労働省令等が改正され、児童等対象業務従事者について、過去の性犯罪歴の確認等が義務付けられたことに伴う所要の改正



議案番号	議 案 名
	概 要
議案第61号	津市介護保険条例の一部の改正について 令和7年度税制改正において給与所得控除の最低保障額が引き上げられ、介護保険法施行令が改正されたことにより、令和7年度に当該控除引上げ分の範囲内で就労調整した市町村民税非課税者が、保険料算定では市町村民税課税者として判定され、令和8年度の保険料が増額となる場合において、国から当該市町村民税非課税者について同年度の保険料の減額の取扱いが示されたことに伴う所要の改正
議案第62号	津市労働会館の設置及び管理に関する条例の一部の改正について 津市労働会館について、利用団体が指定管理者に支払っている負担金に代えて、指定管理者が利用料金を徴収するための所要の改正
議案第63号	津市運動施設の設置及び管理に関する条例の一部の改正について 津市海浜公園内陸上競技場について、新たに設置する管理棟、メインスタンド棟および電子写真判定棟の諸室などの利用料金を設定するとともに、陸上競技場の利用料金を改定するなどの所要の改正
議案第64号	工事請負契約について 津市芸濃総合文化センター舞台照明設備及び舞台音響設備改修工事 1億6,307万5,000円
議案第65号	工事請負契約について 津市美里文化センター舞台照明設備及び舞台音響設備改修工事 1億8,547万1,000円
議案第66号	工事請負契約について 津市立南立誠小学校長寿命化改修工事 3億3,704万円
議案第67号	工事請負契約の一部の変更について 海浜公園内陸上競技場改修工事 変更前 21億4,899万3,000円 変更後 22億2,313万4,100円
議案第68号	財産の購入について 折り畳みベッド3,282台の購入 3,754万6,080円
議案第69号	財産の購入について 組立式大型貯水タンク126台の購入 2,896万7,400円
議案第70号	財産の購入について ワンタッチパーティション2,955張の購入 2,860万4,400円
議案第71号	財産の購入について 小型動力消防ポンプ付軽積載車3台の購入 2,522万4,900円
議案第72号	市道路線の廃止について 杉ヶ瀬4号線ほか1路線の廃止
議案第73号	市道路線の認定について 野村79号線ほか5路線の認定
議案第74号	令和8年度津市一般会計補正予算（第2号） 上水道事業、介護保険事業等の増、学校施設維持補修事業（小学校費）の減による2億2,468万9,000円の増額補正等
議案第75号	令和8年度津市水道事業会計補正予算（第1号） 収益的支出1,240万8,000円の増額補正
議案第76号	令和8年度津市一般会計補正予算（第3号） 隣保館運営事業、道路橋りょう災害復旧事業、農業用施設災害復旧事業等の増による1億2,209万5,000円の増額補正



【賛成多数で可決された議案】

議案番号	議 案 名	賛成しなかった議員
	概 要	
意見書第1号	自衛隊の任務と自衛官の職務に関する理解促進等の取組を求める意見書	滝勝弘
	《反対討論 滝 勝弘議員》自衛官への応募が少ないことの根本には、自衛隊の抱える本質的な問題があり、政府は自衛隊に対して30を超える手当等の新設・金額の引き上げを行うなど、既にかつてない処遇改善を進めていると考えることから、反対する。	

報 告

議案番号	議 案 名
	概 要
報 告 第 7 号	専決処分の報告について 交通事故についての和解
報 告 第 8 号	専決処分の報告について 市有地管理の瑕疵による損害賠償額の決定 35万7,860円
報 告 第 9 号	専決処分の報告について 交通事故による損害賠償額の決定 7万7,000円
報告第10号	専決処分の報告について 交通事故による損害賠償額の決定 20万9,000円
報告第11号	専決処分の報告について 道路管理の瑕疵による損害賠償額の決定 20万7,810円
報告第12号	令和7年度津市継続費繰越計算書について 一般会計の継続費3事業3億3,064万3,000円の通次繰越
報告第13号	令和7年度津市繰越明許費繰越計算書について 一般会計34事業51億8,889万7,299円の翌年度への繰越
報告第14号	令和7年度津市水道事業会計継続費繰越計算書について 水道事業会計の継続費2事業2億4,410万円の通次繰越
報告第15号	令和7年度津市水道事業会計予算繰越計算書について 水道事業会計3事業3億5,421万9,000円の翌年度への繰越
報告第16号	令和7年度津市下水道事業会計継続費繰越計算書について 下水道事業会計の継続費1事業8億円の通次繰越
報告第17号	令和7年度津市下水道事業会計予算繰越計算書について 下水道事業会計5事業13億9,649万6,000円の翌年度への繰越
報告第18号	令和7年度津市駐車場事業会計予算繰越計算書について 駐車場事業会計1事業2億3,035万9,800円の翌年度への繰越
報告第19号	令和7年度津市モーターボート競走事業会計継続費繰越計算書について モーターボート競走事業会計の継続費2事業17億5,017万9,000円の通次繰越
報告第20号	津市土地開発公社の経営状況について 令和7年度決算および令和8年度事業計画
報告第21号	公益財団法人津市社会教育振興会の経営状況について 令和7年度決算および令和8年度事業計画

議案番号	議 案 名
	概 要
報告第22号	株式会社伊勢湾ヘリポートの経営状況について 令和7年度決算および令和8年度事業計画
報告第23号	青山高原保健休養地管理株式会社の経営状況について 令和7年度決算および令和8年度事業計画

不採択とされた請願

請願番号	請 願 名	賛成議員
	概 要	
請 願 第 1 号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的支援を求める請願書	滝勝弘、田矢修介、 八太正年
	難聴は、日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にし、生活の質を落とす大きな原因であり、最近では社会的孤立やうつ病、認知症の発症や認知機能の低下のリスクを高めることが明らかとなっている。日本の難聴者率は欧米諸国と大差ないと言われているが、補聴器使用率は極めて低く、この背景には、日本では補聴器の価格が高額であることや、欧米では既に確立している補聴器購入に対する公的補助制度が整備されていないことがある。補聴器を必要とする多くの高齢者・難聴者から、低所得者や年金生活者にとっては経済的負担が大きく利用できないという悩みが出されていることから、加齢性難聴者の補聴器購入に対する津市独自の公的助成制度を求めるとともに、県および国の関係機関へも同助成制度の創設を要請するよう請願する。	
	《賛成討論 津くらし政策の会 田矢 修介議員》加齢性難聴は根本的な治療が困難と言われており、日常生活での聞こえづらさを補うためには補聴器の使用が有効な手段とされているが、補聴器は非常に高額なため多くの高齢者が購入を躊躇う中、難聴が社会的孤立や認知機能の低下のリスクを高めることが明らかになっている。補聴器購入の公的支援を行う自治体は増加しており、このような現状に鑑みて、公的支援を津市においても実施すべきと考えることから賛成する。	
	《賛成討論 滝 勝弘議員》国の公的補助制度がない中で、高額な補聴器の購入に対し補助事業に踏み出す自治体が増えつつある。本請願は、津市独自の公的助成制度を求め、県および国へも制度の創設を要請するものであり、難聴者への公的支援を求める声に応える内容と考えることから賛成する。	

議会日誌

令和8年5月1日～令和8年7月31日

令和8年

5月11日～13日	総務財政委員会管外視察 (八王子市、鴻巣市、墨田区)	6月15日	本会議 (質問日)
	教育厚生委員会管外視察 (戸田市、町田市、船橋市)	16日	本会議 (質問日)
14日	会派代表者会議	17日	本会議 (質問日)
21日	教育厚生委員会協議会	18日	本会議 (質問日)
25日～27日	経済環境委員会管外視察 (明石市、呉市、尾道市)	22日	建設水道委員会
	建設水道委員会管外視察 (岡山市、高松市、姫路市)	23日	教育厚生委員会
29日	新たな賑わい創出に関する調査 研究特別委員会	24日	経済環境委員会
6月 1日	議案説明会、議会運営委員会	25日	総務財政委員会
8日	本会議 (開会日)	29日	新たな賑わい創出に関する調査 研究特別委員会
10日	議会運営委員会	30日	議会運営委員会、会派代表者会議
		7月 1日	本会議 (閉会日)、 議会だより編集委員会
		30日	会派代表者会議
		31日	議会だより編集委員会

各常任委員会が先進自治体を視察

総務財政・教育厚生・経済環境・建設水道の4つの常任委員会が、それぞれ県外の先進地に赴き視察を行いました。各委員が、調査項目に係る課題について理解を深め、今後の調査研究に生かすため、他の自治体の先進的な事例を学びました。

総務財政委員会 5月11日～13日

東京都八王子市

- 官民連携・共創の推進について
(官民連携による地域課題、社会課題解決の取り組み)

埼玉県鴻巣市

- 包括施設管理業務事業について
(公共施設の管理を総括的に事務委託し、持続可能な管理運営を目指す取り組み)

東京都墨田区

- SDGsに係る政策について
(スタートアップ企業や区内企業と連携・開発を行い、地域で活用する取り組み)



墨田区での視察

視察者

堀口 順也・中野 裕子・福田 慶一・松田 隼・吉川 一正・岩脇 圭一・保田 勝平

教育厚生委員会 5月11日～13日

埼玉県戸田市

- 戸田型オルタナティブ・プランについて
(戸田市教育総合データベースを活用した不登校対策の取り組み)

東京都町田市

- 「認知症の人とともに生きるまちづくり」について
(町田市が主催する認知症カフェ「Dカフェ」の取り組み)

千葉県船橋市

- 保育人材確保のための取り組みについて
(市内保育所等への就職支援および就業継続支援の取り組み)



戸田市での視察

視察者

石川 禎紀・滝 勝弘・坂井田 茂・安積むつみ・石川 正浩・佐藤 有毅・山路小百合

経済環境委員会 5月25日～27日

兵庫県明石市

- 明石沖における漁場資源回復の取り組みについて
(栄養塩管理、種苗放流、漁場環境改善等による水産資源回復の取り組み)

広島県呉市

- 事業承継の取り組みについて
(オープンネーム型事業承継マッチングプラットフォームを活用した小規模事業者の承継支援)

広島県尾道市

- ブルーカーボン・オフセット推進事業について
(干潟・アマモ場の再生とJブルークレジットを活用した豊かな海づくりの取り組み)



明石市での視察

視察者

吉田 博康・長谷川 植・小島 晴美・伊藤 哲也・瀧 裕司・村主 英明・小林 貴虎

建設水道委員会 5月25日～27日

岡山県岡山市

- ハレまち通り歩いて楽しい道路空間創出事業について
(中心市街地の賑わいの創出に向けた車中心から人優先の道路空間の再整備の取り組み)

香川県高松市

- サンポートエリアのまちづくりについて
(サンポートエリアにおける官民共創のまちづくりの取り組み)



岡山市での視察

兵庫県姫路市

- 姫路市自転車利用環境整備事業について
(安全・快適な自転車通行空間の実現に向けた自転車利用環境整備の取り組み)

視察者

藤田 定彦・青木 秀晃・田矢 修介・八太 正年・佐藤 チコ・田中 勝博・奥野 栄作



本会議・委員会の模様を映像配信しています！

本会議・委員会の模様は、津市議会ホームページで映像配信しています。

また、ケーブルテレビ（ZTV）の津市行政情報番組でも令和8年第3回定例会の模様を録画放送する予定です。

放送日程は、決まり次第、津市ホームページ等でお知らせします。

津市議会ホームページ→



令和8年第3回定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
8/23	24	25	26	27 本会議 開会日	28	29
30	31 議会運営 委員会	9/1	2	3 本会議 質問日	4 本会議 質問日	5
6	7 本会議 質問日	8 本会議 質問日	9	10 建設水道 委員会	11 教育厚生 委員会	12
13	14 経済環境 委員会	15 総務財政 委員会	16 決算特別 委員会	17 決算特別 委員会	18 決算特別 委員会 (予備日)	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29 議会運営 委員会	30 本会議 閉会日	10/1	2	3

令和8年度 津市中學生議会を 開催します

令和8年12月25日（金）に、津市立の中学校および義務教育学校後期課程から選出された生徒が議員となり、市政に関する質問や提案を行う「令和8年度津市中學生議会」を開催します。

中学生が市政への理解を深め、まちづくりへの関心を高めることを目的とした事業です。

なお、傍聴は参加する中学生およびその保護者に限り、一般の方は傍聴できませんが、後日、録画映像を津市議会ホームページから視聴できるようにする予定です。



編集後記

いつも見慣れた津のまちも、空から眺めると新たな発見があります。今号の表紙は、お城西公園上空から撮影した一枚です。津城跡の豊かな緑、その先に広がる伊勢湾と高速船が行き交う港。歴史と自然、そして人々の暮らしが調和する津市の魅力を改めて感じます。津市議会では、これからも市民の皆さまの声に耳を傾け、より良いまちづくりに取り組んでまいります。（小島 晴美）

〈議会だより編集委員会〉

委員長 田矢 修介

副委員長 瀧 裕司

委員 中野 裕子 小島 晴美 長谷川 植

松田 隼 青木 秀晃

つ市議会だよりに対するご意見、ご感想は、議会事務局まで（下記所在地、電話番号等）

つ市議会だより 第82号

年4回発行（3月・6月・9月・12月）

編集◆議会だより編集委員会

発行◆令和8年9月1日／津市議会

津市西丸之内23番1号

T E L 059 (229) 3222

F A X 059 (229) 3337

Eメール◆229-3222@city.tsu.lg.jp

ホームページ◆https://www.gikai.city.tsu.mie.jp/

印刷◆三宅印刷株式会社